

せん妄に対するデクスメトミジン・プロポフォールの使用

2026年4月1日

実施内容	せん妄（幻視、興奮、易怒性、不穏）におけるデクスメトミジン、プロポフォールの使用について
対象患者	集中治療室（ICU）において、認知症等の患者背景や身体・精神的苦痛、環境変化などが要因となって生じた、せん妄（幻視、興奮、易怒性、不穏）を有する患者
承認日	2026年3月18日
実施期間	承認後から永続的に使用
目的・概要	ICUにおいては、患者背景や身体・精神的苦痛、環境変化などが要因となり、難治性のせん妄を生じることがあります。せん妄（幻視、興奮、易怒性、不穏）に対しては、環境調整や昼夜リズムの維持、早期離床などの薬剤を使わない対応を基本としていますが、症状が強い場合には、患者さんの安全確保および治療の円滑な実施を目的として、鎮静薬（デクスメトミジン、プロポフォール）を使用することがあります。これらの薬剤は、せん妄（幻視、興奮、易怒性、不穏）症状を和らげる目的で使用され、当院では保険適応外で使用しています。
予想される不利益と対策	<p>少量から開始し、患者さんの体調に合わせて調節するため、想定される副作用は鎮静を目的に使用した場合と比較して同等か同等以下と考えられます。各薬剤の一般的に想定される副作用を以下に記載します。副作用が認められた場合には担当医師にお知らせください。薬剤の減量や中止、変更など適切に対処します。</p> <p>&lt;デクスメトミジンの主な副作用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徐脈、低血圧</li> <li>・過鎮静 など</li> </ul> <p>&lt;プロポフォールの主な副作用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低血圧、徐脈、呼吸抑制、高トリグリセライド血症、プロポフォール注入症候群</li> <li>・過鎮静 など</li> </ul> <p>ただし、適応外使用の場合、薬の副作用による健康被害を救済する制度である国の「医薬品副作用被害救済制度」の対象外となりますのでご承知おき下さい。</p>
問い合わせ先	<p>彩の国東大宮メディカルセンター</p> <p>電話：048-665-6111（代表）</p>